

令和 6 年度日野市特別支援教育推進委員会（第 1 回）

－要点録－

1. 日時場所等

- (1) 日時 令和 6 年 7 月 2 9 日（月）
- (2) 場所 日野市発達・教育支援センター「エール」2 階プレイルーム大
- (3) 出席委員 小島幸子委員長、折茂愼一郎副委員長、小貫悟委員、黒澤一慶委員、比留間千草委員、村田幹生委員、中村由加里委員、長崎将幸委員、竹山弘志委員、前田健太委員、山口早苗委員、中田秀幸委員
- (4) 欠席委員 なし
- (5) 事務局 子ども部発達教育支援課発達教育支援係 高原洋平、吉沢隆助、依田真紀、木暮郁美、福地純子

2. 要点録

- (1) 開会
- (2) 教育長挨拶
- (3) 委員自己紹介
- (4) 委員長・副委員長の選出
委員長：日野第四中学校 校長 小島幸子
副委員長：七生緑小学校 校長 折茂愼一郎

(5) 協議意見交換

■第 6 次日野市特別支援教育推進計画（令和 5 年度）の取組状況について

【事務局】

○【資料②】6 次日野市特別支援教育推進計画取組状況（R6 進行管理表）より、重点施策と新規施策を中心に説明。

○昨年の 9 月推進委員会にて、令和 5 年度に取り組んだ内容の達成状況に関して、単年度の課題が明確になっていないとの指摘があったため、進行管理表に「取り組みに関する課題」という欄を設けた。

○達成状況は全 19 事業のうち、達成 10、概ね達成 9、一部達成 0、未達成 0。

【委員からの意見・質疑】

○学習者用端末の活用で記載のある「離れた場所にいる児童・生徒」は不登校の児童をさしているのか。

（事務局より）日野市立病院内にある日野第五小学校の病弱学級（さやか学級）に在籍する児童が対象である。

○障害者差別解消法の改正において、合理的配慮が民間機関でも法的義務化された。いまだに一般の教育的配慮と合理的配慮の違いが混同されて語られることも多い中で、当事者である児童・生徒本人と保護者、学校の間に入り第三者的調整を行う会議体を設ける必要がある。

（事務局より）合理的配慮に関して第三者的調整を行う会議体は現在設置されていない。

ただし学校が判断に迷うケースをエールが収集し、年2回の合理的配慮検討委員会で取り上げている。合理的配慮検討委員会で得られた専門家の意見等は、学校に周知している。

○中学校で合理的配慮を決定する際は、小学校での支援が、小学校で合理的配慮を決定する際は、幼稚園・保育園での支援がほぼ必ず話に出てくる。つまり合理的配慮の問題は、いつ誰が始めるかが非常に重要である。

○合理的配慮は一度決まったものが大人になっても続くものではなく、見直しも大切である。（事務局より）上記2点のご意見に付いて、前段階の支援の重要性については、かしのきシートの内容充実がより必要であると考えている。

■第6次日野市特別支援教育推進計画取組予定（令和6年度）について
【事務局】

○【資料②】6次日野市特別支援教育推進計画取組状況（R6 進行管理表）より説明。

○進行管理表に記載していない以下2点について説明。

○令和6年9月から、毎週金曜日の午後にエールの心理士が出張して相談を受ける。エールにて要予約。

○令和6年8月から2名程度輪番で、エールのスクールソーシャルワーカーがみらいくに勤務する段取りを進めている。

【委員からの意見・質疑】

○特別支援教室（ステップ教室）等に関する特別支援教育推進体制の充実において、オンラインのアンケート等で当事者である児童・生徒本人、保護者の意見が収集しやすくなっている。学校の指導力向上に加え、利用する側の声を聴いて微調整する形になっていくことも検討してほしい。

○発達検査は現在心理士が実施しているが、相談の待ち時間増加の課題もあるため、新たに検査のみを行う人をどんなふうに作ることができるのか等可能性を検討してほしい。

○幼稚園、保育園、公立、私立等様々なところから入学してくる子どもたちが学校生活に馴染めるように、学習にむかえるようにすることが非常に難しい。子どもたちが楽しく学校生活を送るために、通常の学級の教員も研修をすすめてほしい。同様に、幼児教育側の力もつけていく必要があると考えているので、研修などの機会を作してほしい。

■特別支援学級再編、および2校目小学校情緒固定学級開設の予定について
【事務局】

○日野第八小学校のたちばな学級と七生緑小学校のあおぞら学級を令和7年3月で閉級し、新たに知的障害特別支援学級を七生緑小学校に開設、学級名も新たに設定する。

○日野第八小学校に市内2校目となる自閉症・情緒障害特別支援学級を開設する。

【委員からの意見・質疑】

○日野第八小学校のたちばな学級と七生緑小学校のあおぞら学級で交流を実施したところ、互いに写真を撮ろうと声を掛け合うなど仲良く過ごしており順調に進んでいる。

■その他

【事務局】

○特別支援教育に関するリーフレットは毎年発行しており、年度当初に市立小中学校、市内の幼稚園・保育園、医療機関、市役所の学務課・七生支所・教育センターに配布している。

○就学相談の受付件数（7/26 時点）

新小学校 1 年生を対象とした就学相談：189 件

新中学校 1 年生を対象とした進学相談：125 件

合計：314 件（R5 年度末時点 249 件）

○転学相談の受付件数（7/26 時点）

小学生：42 件（R5 年度末時点 45 件）

中学生：1 件（R5 年度末時点 11 件）

(6) 今後の予定

第 2 回 2025 年 1 月 15 日（水） 午前 10 時から午前 12 時 エール

(7) 閉会